

食の安全確認の取り組みをすすめています

～放射能検査を6月からスタートしています～

東日本大震災は、福島原発事故による放射能流出も引き起こし、消費者・生産者の食品への不安が増えています。よどがわ生協の共同購入・個人宅配でお届けする商品は、おおさかパルコープ商品検査室において『放射能検査機器(ゲルマニウム半導体検出器)』による、残留放射能検査を実施しています。

風評被害にとらわれずに、安全・安心の確保を

商品の取り扱いにあたっては、暫定基準値に基づいて出荷が制限されたものは扱わないようにするなど、『国の出荷基準』に基づいて進めています。また、その基準に沿って出荷された商品が、基準内であることを実際に確認するために、自主検査を行っています。これまでは、福島県やその周辺県の指定産地農産物を中心に、供給前のモニタリング検査を進めてきました。今後も組合員さんが安心して消費し、産地生産者が生産を継続できるように、生協ができることとして、事前検査を積み重ねていきます。



放射能検査機器



8/19 組合員理事が検査室を見学

この間に商品検査室で検査を実施した例

測定日	産地・商品名	測定日	産地・商品名
6/17	(福島県)ブロッコリー など	7/26	(岡山県)生協牛乳 など
6/20	(静岡県)COOP深むし茶 など	7/29	(栃木県)国産牛ロースステーキ など
6/21	(静岡県)山中茶 など	8/1	(山形県)尾花沢すいか など
6/22	(茨城県)有機きゅうり など	8/2	(茨城県)なすび など
6/23	(千葉県)有機おかひじき など	8/4	(福島県)JA新福島・桃 など
6/30	(千葉県)小田さんのチンゲン菜 など	8/5	(長野県)高原野菜ボックス・かぼちゃ など
7/15	(福島県)国産牛肉すき焼肩ロース など	8/8	(群馬県)カジカくらぶ・キャベツ など
7/22	(兵庫県)コープ牛乳 など	8/9	(静岡県)静岡茶 など
7/25	(福島県)JA伊達みらい桃 など	8/10	(福島県)手よりきゅうり など

8月10日現在で

野菜38品、果物7品、魚1品、牛肉2品、牛乳13品、茶11品の合計72品を検査、いずれも食品衛生法で定められた暫定規制値内でした

今後も検査数を増やしていきます

今後の検査の考え方として、優先順位を①今まで通り、福島原発周辺の東北地方の品目②米・牛乳など日常的に摂取頻度や量が多い食品、として検査を拡大していく予定です。

その他の安全性確認検査

食品の衛生状況確認と、化学物質などの食品への残留状態の確認を行っています。その中でも主な検査をご紹介します。

微生物検査

『腐敗しやすい商品』『食中毒の危険性が高い商品』を中心に、細菌的な問題がないか、検査によって危害を予測し、商品事故を予防します。また検査結果を活用し、品質の向上につなげます。



残留農薬検査

検査可能な農薬数は346項目です。2008年冷凍餃子問題をきっかけに、これまでの農産物以外に加工調理品の有機リン系農薬を中心に152項目の検査をしています。ハート栽培農産物※検査も増えています。

※農薬および化学肥料の使用割合を当地比3割以上減らした農産物を独自に認証し、「ハート栽培農産物」として供給しています



食品添加物検査

保存料と発色剤について新企画商品の事前検査、共同購入を実施し、法基準、自主基準に適合しているかを確認しています。検査の対象となる食品は、保存料では一般的に使用率の高い食品で、保存料無添加表示の生協商品について、発色剤では味付けなどにより、素材の色が確認できない食品を重視して行っています。

この他に外部委託で、肉・たまご・牛乳などを対象に行う動物用医薬品検査や、新米の時期に行うカドミウム検査も実施しています。

『産地が安心して供給を行い、組合員のみなさんが安心して消費できる。』この信頼関係が絶えないように、生協は安心・安全検査を行い、商品を産地から組合員さんにお届けいたします。

食の安全を

守るために

『よどがわ』は、『笑顔ひろがる 豊かなくらし』食の安全 子どもの未来 地球環境 守りたい』を目指し、組合員の皆さんに安全・安心を、商品と共にお届けするため、おおさかパルコープと共に、おおさかパルコープ商品検査室にて商品の品質検査を行っています。商品の安全性が注目される中、今回は『よどがわ』とおおさかパルコープの『食の安全・安心への取り組み』をご紹介します。



<http://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索

今月の
生協さん
第5支所



委託配送：全通 島本町担当 島本町を配達しています。今年長男も生まれ、中澤 勝治(なかざわ まさはる) 日々子育て奮闘中です(汗)